

第2回いじめ対策総点検学校訪問指導記録

記録：教頭

- 1 日時 令和元年12月10日(火)
- 2 場所 県立吉川高等特別支援学校 校長室
- 3 指導者 生徒指導課 指導主事 山中 政一 様
義務教育課 特別支援教育推進室 指導主事 疋田 敦士 様
- 4 参加者 校長、教頭、生徒指導主事(いじめ対策推進教員兼務)
- 5 日程 13:30~14:05 授業参観、校舎見学
14:05~15:00 資料に対する説明、指導主事から指導

6 指導内容

(1) 「アンケートの取組状況」について

- ・アンケートは、記名式と無記名式では、目的が異なる。アンケートは、発見が目的ではない。無記名にすることによって、該当生徒以外の生徒も記入しやすくなる。記名、無記名でも同じ結果なら良いが、無記名のほうが出やすいのが現状。(記載があつて) 該当の生徒が分からなくても、学校の現状を知ることができ、それが職員の意識と未然防止につながる。生徒指導リーフも職員に配布して周知してほしい。

(2) スクールカウンセラーの紹介について

- ・是非活用し、広く紹介してほしい。生徒の相談もそうだが、現在、50代の自死が多いことを考えると、職員や保護者の相談相手としても活用してほしい。

(3) 県の相談窓口の周知について

- ・LINEなど新しい相談窓口を開設しているが、周知は十分とは言えない。生徒に資料を配布し、周知してほしい。

(4) 第2回「いじめに関する自己点検」集計結果について

- ・いじめの定義は、100%にしないといけない。人間関係のハラスメントが、そのままイコールいじめではなく、指導に直結するとも限らないが、事実をしっかりと認知し、将来に合った適切な指導をしていく必要がある。嫌な思いをしている生徒の気持ちは、計り知れない。保護者は、とにかく逐一連絡してほしいという方が多い。組織で伝え方などを検討し、正しく伝える。